

## 3月定例会

# 市政に関する一般質問

一般質問は、市政全般にわたり、市長などに対し、事務の執行状況や将来に対する方針などについて質問や提案を行うとともに、報告や説明を求めるものです。

3月定例会では10名の議員が質問に立ち

ました。主な質問と答弁を要約し、掲載しました。  
なお、質問・答弁の詳細は「匝瑳市議会会議録」をご覧ください。

## 一般質問の質問項目

## 一般質問の質問項目

林 明敏 議員	● 市の独自事業について ● 生活基盤整備について ● 非正規雇用について
武田 光由 議員	● H.P.Vワクチンについて ● ひきこもり支援体制の強化について
田村 明美 議員	● 市長の政治姿勢について ● マイナンバーカードについて
内山 隼人 議員	● デジタル行政について ● 性的マイノリティへの理解について
石橋 春雄 議員	● 転入移住者支援策について ● 市民病院の充実、建て替え整備について
近藤 魁人 議員	● 公共施設の電気料金削減について ● のさか図書館について
苅谷 進 議員	● 管理業務について ● のさか図書館について
都祭 広二 議員	● 海岸線の活用について ● 建替事業担当課について
伊東 一成 議員	● 地域少子化対策重点推進(強化)について ● 交付金の活用について ● 鳥インフルエンザにおける対応について ● 文化財の保存活用について ● デマンド交通の実施について ● 道の駅について ● 人事について ● 組織機構について
椎名 勝英 議員	● 市長の政治姿勢について ● 学校給食について ● 農業政策について

## 産業用地整備の進捗状況等

現在の進捗状況と今後の予定について伺う。

答 「市長」 進捗状況については、各候補地を比較評価した結果、仮称 笹曾根ＩＣ周辺地区及び仮称八日市場ＩＣ周辺地区の2区に絞り込み、両地区の地権者を対象にアンケート調査を実施したところである。

今後、調査結果等を踏まえ、令和5年度には事業化想定区域を選定した上で、民間開発事業者への意向調査、進出企業へのニーズ調査等を実施していく。

## 市内住宅の耐震化状況

問 南海トラフ地震は、今後30年以内に発生する確率が70%と高い数字である。市内の一般住宅の耐震状況について伺う。

答 「都市整備課長」 国の平成30年住宅・土地統計調査結果によると、本市の住宅戸数の推計値は1万2,850戸。この内、昭和55年以前に建築された建物で耐震性のある住宅戸数は2,482戸となるので、合計で1万6,86戸が耐震性のある住宅戸数と推計されている。耐震化率は83・2%である。

## 5類変更に伴う影響

問 新型コロナ5類変更に伴う市民への影響について伺う。

答 「健康管理課長」 窓口負担は、インフルエンザと同じように3割負担となる。治療薬については高額なため、9月末までは公費負担。また、入院についても、高額療養の限度額から2万円を差し引いたものを助成することを9月末まで計画している。10月以降は、この夏の感染状況を踏まえて検討することである。

## 事業の外部検討組織設置を

問 空き公共施設の有効活用について、老朽化しないうちに早急に取り組んでいただきたいがいかがか。

答 「財政課長」 市の跡地等利活用検討会議で協議をしていきたい。



林 明敏議員  
(市民クラブ)

